

大田原信用金庫の現状

*Ohtawara
Shinkin Bank*
Mini Disclosure **2007.9**

大田原信用金庫

〒324-0056 栃木県大田原市中央1-10-5

TEL:0287-24-2266 FAX:0287-22-5102

<http://www.ohtawara-shinkin.co.jp/>



お客さまひとりひとりに、いつも心のこもったサービスを。

金庫概要 (平成19年9月30日現在)

名称	大田原信用金庫
代表	理事長 村田 稔
所在地	〒324-0056 大田原市中央1丁目10番5号
電話	0287-24-2266
事業内容	金融業
出資金	461百万円
会員数	18,655名
役員数	131名
事業所数	9店舗

経営理念

1. 地域社会繁栄の奉仕と共に
信頼と協力に応える
2. 中小企業の健全な
育成発展に貢献する
3. 公共性、信頼性、収益性を基本に
健全経営に努力する



シンボルマーク

このシンボルマークは大田原信用金庫の頭文字<O>と信用金庫の頭文字<S>を組み合わせてデザイン化したもので、宇宙空間的な円の構成で表現しております。

大きな円は大田原の<O>、大きな円の中に浮かぶ小さな円は信用金庫の<S>を含む天体であります。この<S>には、お客さまのサクセス(成功)と私達のサービス(奉仕)の精神の意味も含まれております。

また、このマークは5つの円の全周又は部分で構成しております。「たくさんのお客さまといつまでもごえん(ご縁)がありますように。」という大切な願いが込められております。

ごあいさつ

皆さまには、平素より大田原信用金庫をお引き立ていただきまして誠にありがとうございます。

平成19年上期の国内経済を顧みますと、景気は緩やかながら息の長い拡大が続いているものの、地方では依然として力強さに欠ける景況感となっております。地域の中小企業の皆さまにおかれましては、的確に舵取りをされてこの難局を乗り越えていただきたいと思っております。

このような状況の中で、当金庫は3カ年計画「だいしんチャレンジ80」の最終年度になる平成19年度の経営方針を、「お客さまの目線に立った経営」、「リスク管理態勢の確立」、「安定的な収益の確保」、「環境変化に対応できる人材の育成強化」とし、役員一丸となって業務に取り組んでいるところでございます。

さて、平成19年度も6ヶ月が経過し、当金庫の仮決算がまとまりましたので、会員の皆さまをはじめお取引いただいておりますお客さまに、その内容をご報告申し上げます。

平成19年9月末日現在、預金968億円、貸出金539億円となり、預金貸出金が前期に引き続いて増加いたしました。融資のお取引先数が増え住宅ローンも拡大いたしました。一方、不良債権の状況につきましては、その比率が7.66%(金融再生法ベース)となり、不良債権の比率は減少しております。財務健全性の指標とされる自己資本比率は14.15%となり、経営体力はさらに向上いたしました。自己資本の充実によって、経営が一層強固なものとなり、地域の皆さまのお役に立てる積極的な事業を展開できるものと考えております。これもひとえに地域の皆さまからのご愛顧の賜物と深く感謝申し上げます。

下期に向けましては、経営方針のもとに、地域の皆さまから多くの信頼を寄せられる信用金庫を目指し、業務に邁進してまいります。私ども大田原信用金庫は、地域の皆さまの持続的な繁栄のために努力してまいりますので、引き続きご愛顧の程よろしく願い申し上げます。



平成19年11月
大田原信用金庫
理事長 村田 稔

大田原信用金庫と地域社会

当金庫は、主に栃木県北地域を事業区域として、地域の中小企業者や住民が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。

地域のお客さまからお預かりした大切な資金（預金）は、地域で資金を必要とするお客さまに融資を行って、事業や生活の繁栄のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地域の中小企業者や住民との強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めております。また、金融機能の提供にとどまらず、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。

■有価証券について

地域のお客さまからお預かりした大切な預金は、出来る限り地域のお客さまの資金ニーズにお応えすべく貸出により運用しておりますが、残りの資金については、資金運用基準に基づき有価証券などで確実に運用しております。これからも元本回収の確実性と収益性を考慮しながら、効率的な資金運用に努めてまいります。

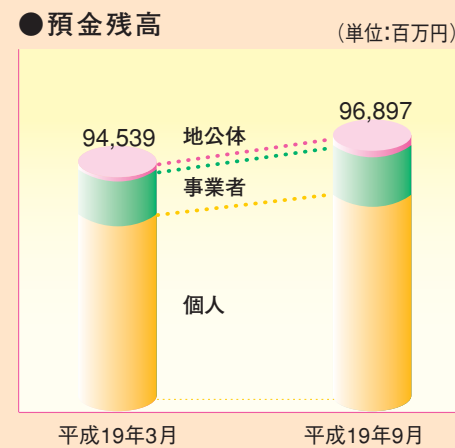
(単位:百万円)

保有目的	区分	帳簿価格	平成19年9月現在の評価損益		
			うち評価益	うち評価損	
満期保有	その他	5,598	△178	77	256
その他保有		26,348	595	899	303
	債券	16,496	61	156	95
	株式	1,558	434	467	32
	その他	8,292	99	275	175

- 注意
- 区分の「その他」には投資信託や外国証券等が含まれております。
 - 保有目的「満期保有」の帳簿価格は償却原価法を採用しております。
 - 保有目的「その他保有」の帳簿価格は時価となっております。
 - 保有目的「その他保有」の「株式」には時価のない有価証券9百万円が含まれております。

■預金について

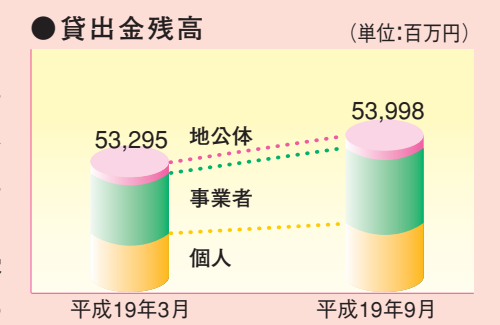
預金残高は上期で2,358百万円増加し96,897百万円となりました。預金は、お客さまからの「信頼のパロメーター」ともいわれております。これからも地域のお客さまの決済や資産作りのお手伝いをさせていただくため、さまざまな預金商品を取り扱い、サービスの充実に努めてまいります。



預金・
出資金

■貸出金について

貸出金残高は上期で703百万円増加し53,998百万円となりました。地域の皆さまへの円滑な資金供給を経営理念とする当金庫にとって、貸出金の伸長はこの上ない喜びであります。これからも地域で資金を必要とするお客さまに適切なご融資をさせていただき、事業や生活の繁栄のお手伝いに努めてまいります。



貸出金・
支援サービス

■地域社会活性化の取り組み

当金庫は、地域社会の一員として地域の皆さまに対しさまざまな取り組みを行い、地域社会活性化に努めております。主な取り組みを紹介いたします。

当金庫取引先の経営者で組織している「だいしん経営塾」では、参加企業の業績向上と地域社会の発展に貢献する目的で設立され、定期的に勉強会、経済講演会、情報交換等を行っております。年1回の経済講演会では著名な講師を招き、参加企業以外の方の参加も多数ありご好評を頂いております。若手経営者で組織する「信樹会」では、定期的に勉強会、経済講演会等を開催し、会員の経営能力の向上や会員企業の業績向上に努めております。黒磯支店・西那須野支店・東那須野支店・美原支店では、営業店単位の「だいしん会」を組織し会員との勉強会や情報交換等を定期的に開催しております。

また、当金庫は、地域の諸行事に積極的に参加し、地域の皆さまとのコミュニケーションを大切にしております。なかでも、お子さまたちの夏休み時期に開催している「児童向け学習教室」は、大変ご好評を頂いております。



児童向け学習教室



(単位:百万円)

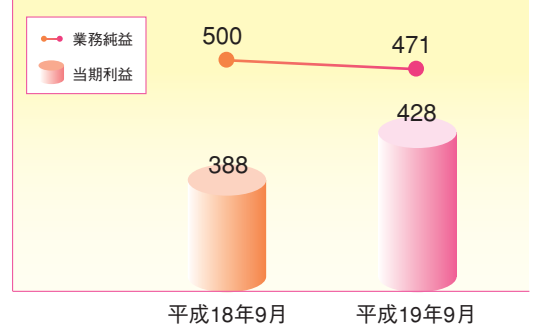
業種区分	平成19年9月		
	先数	残高	構成比(%)
業務別貸出合計	6,419	53,998	100.00
事業先小計	1,394	27,862	51.60
製造業	186	4,503	8.34
農業	41	685	1.27
林業	0	0	0.00
漁業	1	29	0.05
鉱業	1	58	0.11
建設業	359	5,713	10.58
電気・ガス・熱供給・水道業	4	52	0.10
情報通信業	1	3	0.01
運輸業	28	669	1.24
卸売業・小売業	283	5,415	10.03
金融・保険業	6	18	0.03
不動産業	69	3,723	6.89
各種サービス	415	6,988	12.94
地方公共団体	7	3,976	7.36
個人	5,018	22,160	41.04

収益・不良債権・自己資本の状況

■収益について

上期の業務純益は、471百万円となりました。貸出金利息収入や有価証券利息配当収入からなる資金運用収益は堅調でしたが、資金調達費用をはじめとする業務費用の増加が業務収益の増加を上回り、前年同月比で29百万円の減少となりました。最終利益は、428百万円を確保しております。これからも地域との共存共栄を大切に収益水準を心がけてまいります。

●業務純益と当期利益 (単位:百万円)

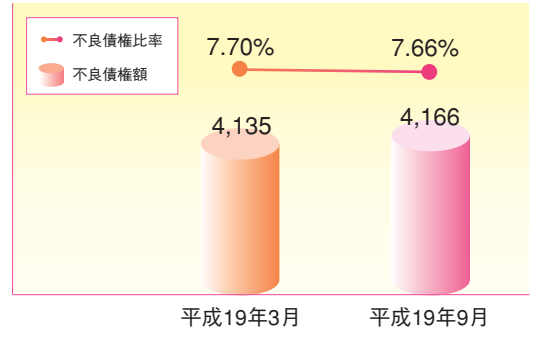


項目	平成18年9月	平成19年9月
業務純益	500	471
業務収益	1,268	1,473
資金運用収益	1,152	1,218
その他収益	116	255
業務費用	768	1,001
資金調達費用	32	120
その他費用	58	153
経費	676	727
経常利益	453	312
当期利益	388	428

■不良債権について

19年9月現在の不良債権比率は、引続き厳正な資産査定のもと適切な償却や引当を進めた結果、金融再生法ベースで7.66%となりました。これからも不良債権の着実な減少を目指すとともに、信用リスク管理を徹底し貸出資産の健全化に努めてまいります。

●不良債権の状況 (単位:百万円・%)

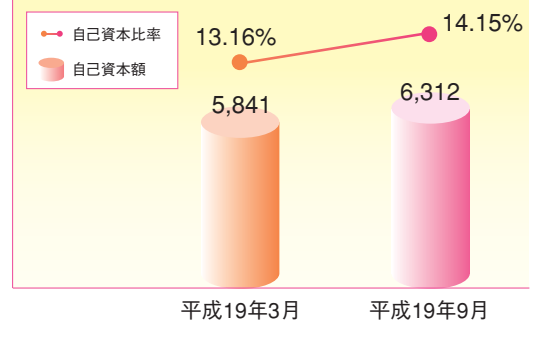


項目	平成19年3月	平成19年9月
金融再生法上の不良債権(A)	4,135	4,166
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	676	659
危険債権	3,151	3,199
要管理債権	307	308
保全額(B)	3,634	3,758
貸倒引当金(C)	798	705
担保・保証等(D)	2,835	3,052
保全率(B)/(A)(%)	87.90%	90.21%
引当率(C)/((A)-(D)) (%)	61.38%	63.29%
金融再生法上の正常債権(E)	49,567	50,225
金融再生法上の開示債権合計(F)	53,703	54,392
不良債権比率(A)/(F)(%)	7.70%	7.66%

■自己資本について

自己資本比率は、金融機関経営の健全性を示す代表的な指標で、国内業務のみを営む金融機関は4%という最低基準が定められております。当金庫の自己資本比率は、主に利益の内部留保により対期末比で0.99%増加し14.15%となりました。これからも地域の皆さまが安心してお取引いただけるよう、経営体制の強化に努めてまいります。

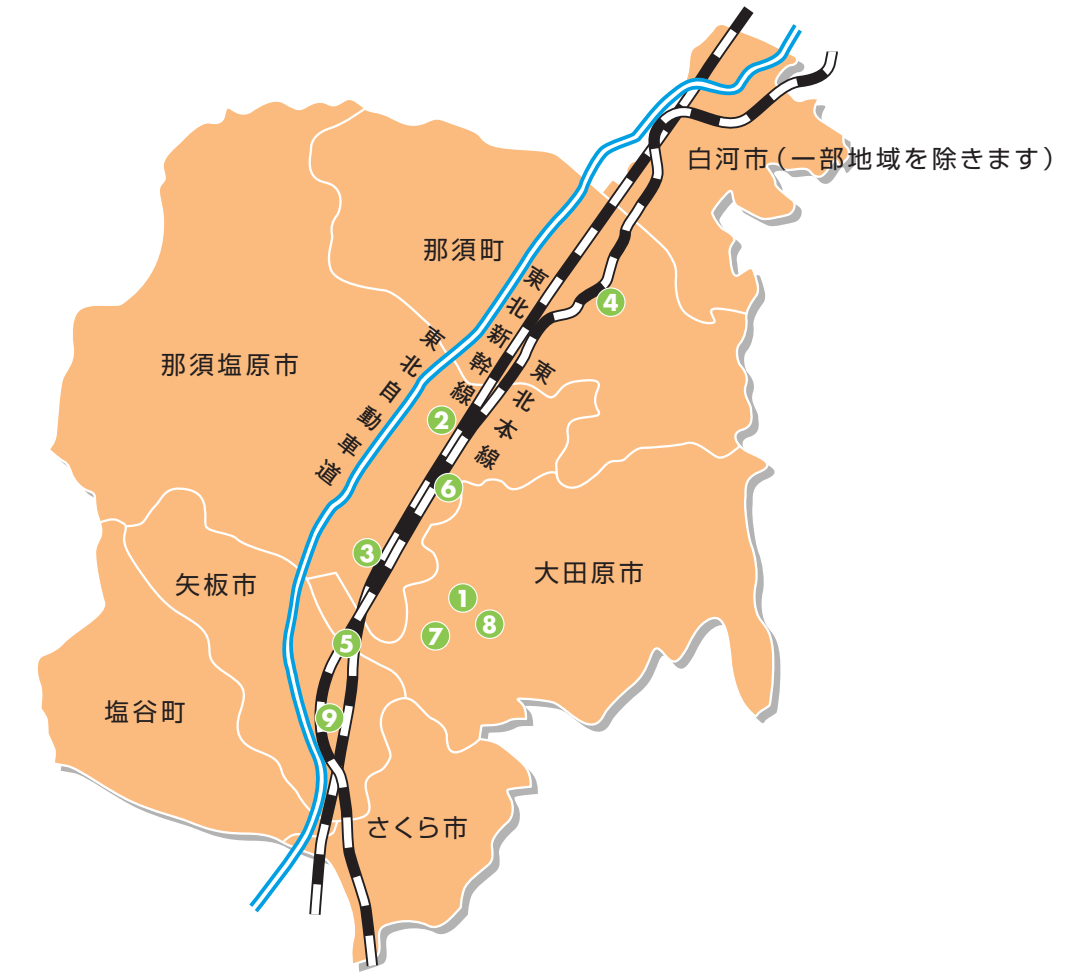
●自己資本の状況 (単位:百万円・%)



項目	平成19年3月	平成19年9月
自己資本総額[(A)+(B)](C)	5,941	6,412
基本的項目(A)	5,818	6,248
出資金	459	461
利益準備金	459	459
特別積立金	4,870	4,870
次期繰越金	28	457
補完的項目(B)	123	164
一般貸倒引当金	123	164
控除項目(D)	100	100
自己資本控除の証券化エクスポージャー	100	100
自己資本額[(C)-(D)](E)	5,841	6,312
リスク・アセット計(F)	44,364	44,599
信用リスク・アセット	40,154	40,389
オペレーションリスク・アセット	4,210	4,210
Tier1比率(A/F)	13.11%	14.01%
自己資本比率(E/F)	13.16%	14.15%

営業区域と店舗のご案内

栃木県北9カ店のネットワークでキメ細かいサービスをお届けいたします。



店舗所在地

No.	店舗名	郵便番号	所在地	電話番号
①	本店	〒324-0056	大田原市中央1丁目10番5号	0287-22-3130
②	黒磯支店	〒325-0061	那須塩原市末広町5番地107	0287-62-0678
③	西那須野支店	〒329-2727	那須塩原市永田町5番1号	0287-36-1255
④	黒田原支店	〒329-3222	那須郡那須町大字寺子丙2番地73	0287-72-1131
⑤	野崎支店	〒324-0035	大田原市薄葉2287番地9	0287-29-1221
⑥	東那須野支店	〒329-3153	那須塩原市大原間378番地1	0287-65-2031
⑦	美原支店	〒324-0047	大田原市美原1丁目6番14号	0287-22-3800
⑧	南支店	〒324-0053	大田原市元町1丁目7番10号	0287-23-7650
⑨	矢板支店	〒329-2142	矢板市木幡1369番地9	0287-43-4646

店外キャッシュサービスコーナー

ベシア大田原店共同出張所	ヨークベニマル黒磯店共同出張所
東武宇都宮百貨店大田原店共同出張所	ヨークベニマル那須塩原店共同出張所
三樹屋大田原店共同出張所	ベシア矢板店共同出張所
スワストア-西那須野南店共同出張所	県庁共同出張所
ヨークベニマル西那須野店共同出張所	